

議会だより

# おおえ



2013.4.23

No. 127

## やる気→元気活動支援補助による「第1回大江とんと昔のつどい」

平成25年

第1回定例会・平成25年度予算 ..... ②

予算特別委員会質疑 ..... ④

平成24年度一般会計補正予算 ..... ⑥

一般質問 ..... ⑧

大江・朝日両町議会議員協議会／議長声明 ..... ⑬

専決処分・条例制定 ..... ⑭

行政報告／西村山広域議会報告 ..... ⑮

大江町議会総務常任委員会行政視察報告  
産業厚生常任委員会現地調査 ..... ⑰

町民みなさんの請願・陳情 ..... ⑱

私からも一言 ..... ⑲

林歳幸氏旭日双光章を祝う  
国の『重要文化的景観』に選定／編集後記 ..... ⑳

●発行／大江町議会

●編集／議会広報常任委員会

〒990-1101 山形県西村山郡大江町左沢882-1

TEL (0237)62-2228 FAX (0237)62-2155

# 予算の使いみち

## 23億4,670万円

# 平成25年 第1回 定例会

### 9会計総額

## 71億9,677万円

(前年度対比1.0%減)

予算項目	予算額
1 一般会計	44億1,000万円 (5.0%減)
2 国民健康保険特別会計	9億6,360万円 (4.9%増)
3 後期高齢者医療特別会計	1億140万円 (3.3%減)
4 介護保険特別会計	9億5,530万円 (5.2%増)
5 宅地造成事業特別会計	1,600万円 (1.3%増)
6 簡易水道事業特別会計	1,010万円 (44.3%増)
7 公共下水道事業特別会計	2億5,300万円 (12.3%減)
8 農業集落排水事業特別会計	4,730万円 (6.3%増)
9 水道事業会計	
収益的支出	2億4,340万円 (0.6%増)
資本的支出	1億9,667万円 (95.7%増)

平成25年第1回定例会は、3月7日から15日までの9日間の会期で開催されました。

最初に町長から、新年度の町政運営に関する所信と主要施策の要点についての施政方針表明があり、その後、平成24年度補正予算、平成25年度予算、各種条例の制定及び改正、町道路線の認定についてなど41議案、議員発議3件、請願1件、要請1件、計46件が提案され、慎重審議の結果、原案のとおり可決しました。

「11月に暮らす喜びをみんなが  
実感できる町」に向けて

### 歳入

今年度予算は44億1千万円で前年度比2億3千200万円の減となりました。

これは、国の緊急経済対策事業を受け、平成24年度に、平成25年度予定事業を前倒して実施した15

### 一般会計予算

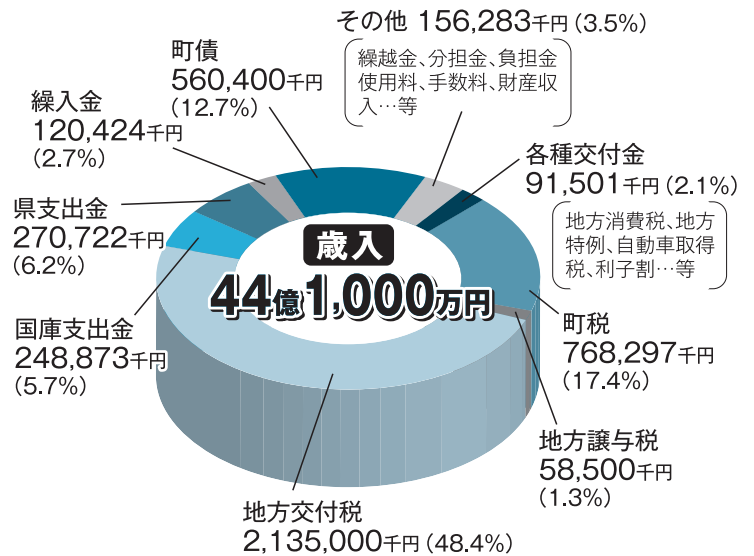
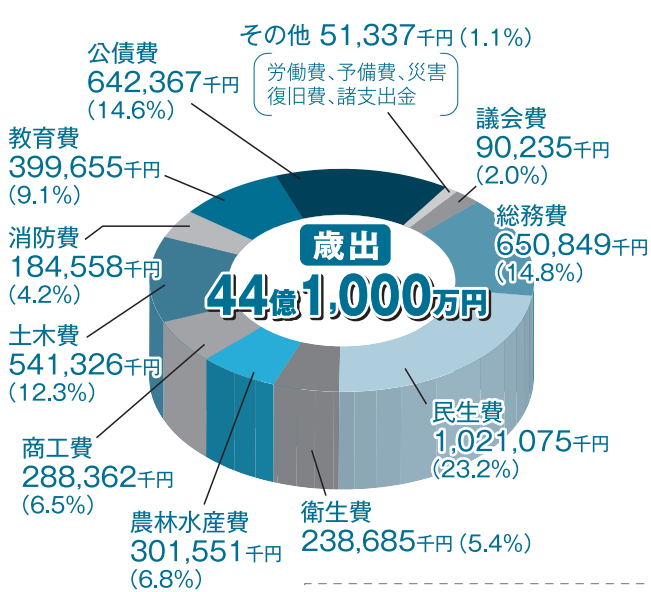


# 平成25年度スタートどろ生か

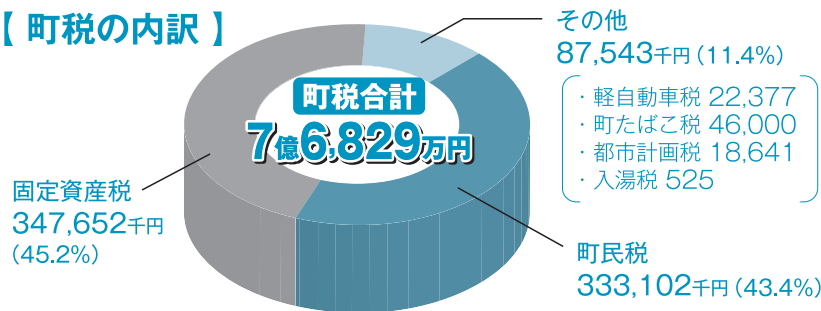
◆一般会計 **44億1,000万円**

◆特別会計

## 一般会計予算の内訳



### 【町税の内訳】



### 歳出

歳出を性質別に分け昨年と比べると、人件費などに関する消費的経費では334万円の増となり、建設事業などの投資的経費では、1億9千200万円の減となりました。

これは、国の緊急経済対策事業の一環で、平成24年度に前倒しで実施したためです。

主な事業では、健康温泉館の木風呂改修工事、藤田堂屋敷線道路外7路線の改良工事、庁舎エアー等更新工事、左沢楯山城跡保存整備事業、林道橋長寿命化対策事業、婚活チャーター事業などです。

なお、公債費は6億4千236万円（元利金とも）です。

自前収入の主な財源である町税は、前年比1%減の7億6千829万円となり、国からの地方交付税は、23%減の21億3千500万円になりました。

自主財源は27%、依存財源は73%です。

ケ月予算による結果であり、予算規模としては、平成24年度とほぼ同じです。

# 予算はどう使われるのか 予算特別委員会質疑



松田敏男予算特別委員長

了し、今年度4月から8月頃まで  
実施設計の段階に入ります。

以後、改修工事に入りますが、  
現在の木風呂は営業しながら、近  
辺に新たに建築する予定です。



新しく建築される予定の木風呂

下線、藤田堂屋敷線、左南西原線、  
滝の沢下モ原線（消雪施設を除去  
した区間）、ふれあい会館付近の  
原町内町線、大城古河口線の工事  
です。



藤田堂屋敷線

**問** 婚活チャーター報酬ほかにつ  
いては単なる仲人制度か、何名で  
どのような活動をするのか。

**答** チャーターとして5名の委嘱  
にかかる予算で、人と人を紹介  
するようなものになりたいと思っ  
ており、結婚の助言のほか、研修及  
び会議にも参加していただきます。



柳川の青柳橋

**問** 橋梁補修設計委託料はこの  
橋梁か。

**答** 平成26年度に補修予定の柳川  
の青柳橋、小鉾にかかる小牧橋と  
大江大橋を予定しています。

**問** 大江町から世界へ発信する事  
業として海外研修に臨む姿勢は。

**答** 義務教育として、外国青年を  
招いての小中学校教育等における  
招致事業は、平成15年度から実施  
しています。

また、モンタナ大学との連携を  
進めていくか検討します。

**問** 健康温泉館の木風呂改修工事  
の計画は。

**答** 平成24年に基本設計業務が終

**問** 町道改良及び舗装工事はどの  
区間の工事か。

**答** 柏陵荘付近から柏陵荘グラン

**問** ふるさとまちづくり寄附謝礼3万円は。

**答** 町外の方からふるさと納税をして下さる方に対する謝礼です。平成24年度見込みとして、6名の方から123万3千円の寄附がありました。



**問** 大江町型住宅販売促進業務委託料とは。

**答** 平成25年4月から宿泊施設として宿泊可能となるため、宿泊体験業務における受付、展示場案内等について委託するものです。

**問** 「やる気↓元気」活動支援補助金について、どのような活動をする団体に支援されるのか。

**答** 公益的な視点で主体的に行う町づくり活動や公益活動を行う団体を育成するための活動支援補助

金です。



「やる気→元気」活動補助を利用した民謡祭り

**問** 中央公民館整備検討委員会報酬及び建築デザイン報酬とは。

**答** 耐震化対策として全面的な改築計画に早期に着手し、利用者の安全を確保しなければならぬ必要が生じてきたことから、喫緊の課題として中央公民館整備検討委員会を立ち上げるとともに、併せて建築デザインを依頼するものです。

**問** 庁舎の改修工事費とは。

**答** 庁舎西口に設置している電気設備と地下重油タンクの工事のほ

か庁舎内のエアコンは20年が経過しており、機能の面から50台を交換する工事費です。

**問** 社会福祉協議会補助金956万円の内容は。

**答** 社会福祉協議会事務局運営費等に740万円、柏陵荘の地下設備の灯油タンクの改修工事費に260万円の費用です。



柏陵荘 灯油タンク注入口

**問** 測量設計等委託料とは何か。

**答** 近年の少子・高齢化に鑑み、低廉で分譲できる小区画の新たな住宅団地の造成に向けて宅地開発するため、場所の選定、造成規模等の検討にかかる委託料です。

**問** 研修施設費とは。

**答** 従来、大江中学校生徒の寄宿舎として利用されてきましたが、近年、利用者がいないことから研修施設として名称を改め、町の事業の研修、新規就農者及びモンタナ大学との国際交流等の宿泊施設として整備するための費用です。

**問** 新たな宅地造成に向けた基本設計にはどのような思いを込めるか。

**答** 若者のニーズを取り込み、自然と調和の取れた小区画の分譲を新たに基本設計として考えています。また、公共機関、交通のアクセス、求めやすい分譲単価及び公共施設への距離等に主眼を置きたいと思っています。

**問** 大江町型住宅販売支援事業補助金25万円は少ないのでは。

**答** 平成24年度は50万円であるが、完成内覧会とか山形新聞への広告等を大々的に行ったため費用がかかりました。

平成25年度は、内覧会を縮小することを踏まえ、会員業者45社からの年会費70万円から80万円の事業費で運営できるものと考えています。

# 平成24年度 一般会計補正予算

## 一般会計

既定の歳入歳出の総額にそれぞれ8千550万円を追加し、歳入歳出の総額が51億8千210万円となりました。

### ◆主な歳出◆

#### 総務費

717万2千円の減額です。  
知事選挙・住民投票が減額になりました。

#### 衛生費

961万3千円の減額です。  
クリーンセンター・斎場負担金の減額・合併処理浄化槽設置補助金等が減額になりました。

#### 農林水産業費

627万8千円の増額です。  
さくらんぼ産地強化対策事業費補助金・環境保全型農業直接支払交付金等が減額で、林業振興費1千100万円（追加）が増額になりました。

#### 土木費

1億897万3千円の増額です。  
道路維持費・道路除雪費・道路新設改良費・交通安全施設費・橋梁維持費・町営住宅建設工事費等が増額になりました。

#### 教育費

437万6千円の減額です。  
小・中学校の管理費精査等によるものです。



まもなく工事が始まる藤田大明神線

平成24年度大江町国民健康  
保険特別会計補正予算  
7千785万8千円を追加。  
補正後の予算は10億9千370万  
9千円となりました。

平成24年度大江町後期高齢者  
医療特別会計補正予算  
391万9千円を減額。  
補正後の予算は1億212万9千  
円となりました。

平成24年度大江町介護保険  
特別会計補正予算  
3千909万6千円を追加。  
補正後の予算は9億5千982万  
6千円となりました。

平成24年度大江町宅地造成  
事業特別会計補正予算  
582万2千円を追加。  
補正後の予算は2千162万2千  
円となりました。

平成24年度大江町簡易水道  
事業特別会計補正予算  
6万8千円を追加。

補正後の予算は706万8千円となりました。

### 平成24年度大江町公共下水道事業特別会計補正予算

34万円を減額。

補正後の予算は2億8千773万円となりました。

### 平成24年度大江町農業集落排水事業特別会計補正予算

45万円を減額。

補正後の予算は4千294万円となりました。

### 平成24年度大江町水道事業会計補正予算

収益的収入54万8千円の減額で2億4千149万2千円になり、収益的支出は54万8千円減額になりました。

資本的収入は1千446万2千円の増額で4千916万2千円になり、資本的支出は6千549万7千円増額で1億6千600万3千円になりました。



さらに1棟が追加建設される西原団地

## ※ 繰越明許費

### 林業費

- 民有林林道整備事業  
(大瀬川左岸線滝ノ沢橋)

1千100万円

### 道路橋梁費

- 舗装点検事業

220万円

- 道路改良事業

町道藤田大明神線ほか

9千985万3千円

- 橋梁補修工事

(月布川大橋ほか)

4千410万円

- 交通安全施設点検事業

100万円

### 都市計画費

- 都市計画策定事業

126万円

### 住宅費

- 町営西原住宅整備事業

3千980万円

### 消防費

- 全国瞬時警報システム  
緊急整備事業

688万8千円

### 社会教育費

- 文化的景観保護推進事業

62万6千円

## ◆ 繰越合計 ◆

2億672万7千円

## ※ 繰越明許費

歳出予算の一部で、年度内にその支出を終わらない見込みのあるものについて、予算で定めることにより、翌年度に繰り越して使用することができる経費。



結城 岩太郎 議員

## 本町の教育に対する 対応や考え方について

**政府**は「教育再生は経済再生と並ぶ最重要課題」と位置付け、教育改革に強い意欲を表明していることから、本町の教育に対する対応や考え方について質問します。

**質問** 町の体罰実態調査は本町でもなされたのか、実施されたとしたらその内容は。

**教育長** 2月中に実施しました。事案については、教育委員会も学校とともに、対応を協議しながら進めていきます。

**質問** 「学校週6日制」が実施されるとした場合、本町教育委員会の考え方はどうか。

**教育長** 国の動向を見守りながら「週5日制」にあわせて実施されたさまざまな事業のあり方、教員の勤務時間の問題など、解決しなければならぬ課題が残されていると考えています。

**質問** 道徳教育を推進するための学校における指導体制はどのようにあるべきと認識しているか。

**教育長** 道徳教育は重要な要素と考えています。家庭や地域社会と共通理解を深め、相互の連携・協力をはかりながら推進する必要があると考えています。



友だちといっばい遊ぼう！（あゆみ保育園入園式）

**質問** 小中一貫教育の推進及び、幼児教育と小中学校との連携に対する本町の対策は。

**教育長** 小中学校における校内研修等の交流や小中連絡会を、これまでどおり実施していきます。幼児小の接続についても、<sup>\*</sup>小1プロブレムの解消のため、合同の研修会を実施し取り組んでいます。

**質問** 国際社会に対応できる英語教育の強化に向けた対策は。

**教育長** 低学年の早い段階から異文化（英語）に触れることは大変有効であり、今後も英語教育の強化とALTの効果的な活用の方を探っていきます。

**質問** 大江中生徒に英語検定試験を受験させてはいかがか。

**教育長** 授業内容の一つとして、英語検定に向けた集中的な学習会の実施などを計画しています。

**質問** 中学生の海外派遣事業を行う考えは。

**教育長** 直接外国の文化に触れ、早い段階から国際的な感覚を育んでいくといった観点からも、大変意義のあるものと考え、事業の実現に向け、検討しながら取り組んでいきます。



英語の授業 みんな真剣

<sup>\*</sup>小1プロブレム（小1問題）

小学校に入学した子供達（新小学1年生）が授業中にも関わらず、廊下に出たり教室をうろろしたりして、授業にならないような状況を言います。





伊藤 慎一郎 議員

**Q** これからの友好都市について

**A** 応援協定を結ぶ市町村について検討する

**Q** 大江町のイベントをどのように考えるか

**A** 積極的に盛り上げ役をして町を活性化したい

**質問** この度の東日本大震災において、各地から被災地に救援活動が行われました。大江町も宮城県の亘理町に応援に行きましたが、災害時に応援しあえる市町村や、災害時だけでなく、友好都市などについて、これからのように考えていくのか、町長に伺います。

**町長** 想定外の出来事の一つであるかもしれませんが、福島原発が再度、多量の放射能を噴出したニュース等が入ると福島原発250キロ圏内に居れなくなり、盛岡より北に行かなければなりません。しかし、日本中に原発があり、どこにも行けない状態です。

震災の時、町ではガソリン不足になりましたが、小国町では、日本海側にルートがある新潟県に行ったのでガソリンが不足しませんでした。小さい範囲かもしれませんが、地理的条件も含めて今後、検討していきたいと思います。

亘理町とは、3年間の交流期間が終わりましたが、エンコロ節の町と



宮城県亘理町でのボランティア活動

最上川舟唄の町として、再度書面で調印をして、交流してまいります。

他の市町村との交流については、町の基本的な町づくりの中に仕組まれている内容について共有した上で、人と人が、顔と顔が見える付き合いをしないと長続きしないと思われまますので、行政が行っている交流ではなく、子どもたち、民間芸能の団体・個人の交流を町単位まで高めた

と思います。

災害時における応援協定を結ぶ市町村については、町民から広く意見を聞いて検討を加えていきます。

**質問** 大相撲大江舟唄場所が大成功に終わりました。大江町の地の利を生かしたイベントを今後どのように考えているのか、町長に伺います。

**町長** これまで、NHK朝のラジオ体操、のど自慢、大相撲大江舟唄場所と、かなりビッグなイベントを行いました。行政がしたわけではなく、町民の方々、商工会をはじめ、各種団体の力だと思えます。

これからは、町民のみなさんが勇気を持てるイベントをやっていきたいと思えますが、いつまでも行政がプロモーターでは駄目だと思います。町民のみなさんが積極的に参加して盛り上げ役をして町を活性化したいと思うことが重要だと思えます。

他の市町村からはイベントが多い町と言われており、灯籠流し、大山自然公園のユリまつり、最上川舟唄全国大会、味覚まつりなど多彩です。そして、宣伝というよりも、催しを行うことを通じて町内外に発信していくことが重要です。

今年6月から9月にかけて、山形県のDESTINEーションキャンペーンがあります。山形県で初めての重要な文化的景観事業の位置付けも含め、

大江、朝日、白鷹の観光の広域協議会も3年間継続することになり、着地型のイベントを行い、町に来て楽しい、もう一度行ってみたい、できるものなら大江町に住んでみたいと思えるような段取りが必要かと思えます。



昨年行われた一大イベント「水郷大江舟唄場所」



松田 敏男 議員

**Q** 市町村設置型合併浄化槽整備について  
町財政への影響を考えると慎重にならざるを得ないが問題意識を持ち検討していく

**A** 町長 町財政への影響を考えると慎重にならざるを得ないが問題意識を持ち検討していく

**Q** 有害鳥獣駆除ならびに防御施策について  
関係団体の協力も得ながら被害防止計画の策定に向け検討していく

**A** 町長 関係団体の協力も得ながら被害防止計画の策定に向け検討していく

**質問** 現在進めている補助率での普及拡大については早急に見込めないで、国や県と一体となった「市町村設置型合併浄化槽整備」の導入で水質改善を図る方向性で考えてはどうか。

この補助制度は、町が用地を無償で借りて浄化槽を設置し、その後の維持管理も町が行う事業であり、各個人は下水道料金と同じく、水道の使用料を基に算定し使用料を支払うものである。

下水道区域の見直しを実施したばかりであるが、町長の考え方を伺います。

**町長** 合併処理浄化槽の普及推進による環境保全という観点から、浄化槽設備事業は従来からの個人設置型でなく、市町村設置型で行うべきではないかとの提言であります。これは、今後の下水道計画の見直しの議論と表裏となる大きな問題ととらえ、これまでも、他市町村の状況調査等を含め、本事業の検討を行ってきました。



合併処理浄化槽の普及推進を

その見解としては、行政サービスの向上という点では有効な市町村設置型事業ではありますが、事業実施には少なからずリスクを伴うものであり、その効果を測りかねる状況では、特に将来の町財政への影響を考えると慎重にならざるを得ません。

早急な移行は様々な問題を生じさせてしまう可能性もあり、浄化槽整備事業の手法の変更については、生活環境に関わる事項として常に問題意識を持ち、引き続き検討を進めていきます。



「捕獲隊」結成で、鳥獣被害を防止

**質問** 昨今の大江町における農産物の被害は、熊による被害を筆頭にカラス、猿、ハクビシン、狸など、年間を通して全町的に、年々被害が拡大している。

国・県で補助をしている「捕獲隊」の設置により駆除ならびに防御をする「捕獲隊結成」という制度がある。

この補助制度を活用し、農産物の保護に努めてはどうか伺います。

**町長** 国が定めた、鳥獣による農林水産業等に係る被害防止のための特別措置に関する法律に基づき、人里と生息区域の緩衝帯の設置や電柵設置、特定鳥獣被害対策実施隊の設置による狩猟者の確保を含め、国県

の財政支援の下、生物の多様性の確保に留意し、県が定めた特定鳥獣管理計画と整合のとれた被害防止計画の平成25年度中の策定に向け、関係団体の協力も得ながら検討していきます。

**質問** 捕獲隊結成に向けた具体的な内容は。

**町長** 大江猟友会、農協団体及び行政が三者一体となって連携をとり、捕獲隊の立ち上げに向け、6月の補正予算に間に合うよう、補助金について事務方に指示していきます。

**質問** 近隣の市町村との関係は。

**町長** 朝日町、西川町等とも協力し検討していきます。



ハクビシン捕獲用のかご



士田 勵一 議員

**Q** ETC専用ミニインターチェンジの設置について

**A** 県全体の道路交通網の中で考えられるべき

**質問** 木の沢地区を走る山形自動車道の、国道287号線と交差するところにETC専用のミニインターチェンジを作れないかと思います。

大江・朝日両町議員協議会の総会でも提案され承認されました。ネクスト東日本に地域ぐるみで働きかけはどうか、町長に伺います。

**町長** 道路は、作ってから直すのは非常に難しく、とりわけ高速道路はもっと難しいものです。だからこそ、道路を作る時は町を挙げて広域的な意見にして要望しないと後から悔しい思いをします。

寒河江、西川の各インターの中間にスマートICがあり、国道287号沿線の長井から新潟に抜ける市町村、朝日、東根方面の繋がりの中で山形道をどう位置付けていくか、様々な意見があり、木の沢が適当かは検討が必要です。

国道287号と国道112号の合流を上手く果たすためのインターチェンジはどこが適当かという課題は、1市町だけでなく、広く山形県全体の大き



高速道路網と、その周辺整備については長期的・広域的視点で…

な高速道路交通網の中で考えられるべきと思います。

遠い将来の中では、国道287号の高速化などが新潟に向け、あるのではないか、そういうことを含めて提言をしていかなければならないと思います。私も町をまとめながら、さまざまな場所、場面で要望してまいります。

# 議会の動き

(平成25年1月～3月)

1月

9日 広報常任委員会

16日 大江朝日両町議会議員協議会  
(朝日町)

22日 全員協議会

全員協議会懇談会

30日 総務文教行政常任委員会  
行政視察(真室川町)

2月

1日 村山地方町村会との懇談会  
(山辺町)

14日 山形県町村議会議長会定期総会  
(山形市自治会館)

15日 議会運営委員会

22日 全員協議会  
産業厚生常任委員会協議会

25日 都市計画審議会懇話会

27日 議会運営委員会  
広報常任委員会

3月

7日 第1回定例会(15日まで)

17日 林歳幸氏旭日双光章受章祝賀会  
(ふれあい会館)

19日 大江西川両町道路整備促進  
期成同盟会設立総会

21日 広報常任委員会

26日 広報常任委員会

◎次回定例会は、6月開催予定です。ぜひ傍聴においでください。また、町のホームページで、議会の様子をライブや録画で見ることができます。

トップページ >> 町政情報 >> 議会





宇津江 雅人 議員

**Q** グリーンニューデール基金を活用した太陽光発電の設置について

**A** 町体育センターに基金を活用する事業に取り組みます

**Q** 木質バイオマスボイラーの活用について

**A** 整備費用やコスト面等を調査しながら検討していく

**質問** 町長は卒原発ならず非原発を唱えており、大江町総合計画9次のなかでも再生可能エネルギー等の実用性と採算性に関する検討が示されています。

数ある再生エネルギーのなかから、本町の環境的特性から考えて、グリーンニューデール基金を活用した太陽光発電と森林バイオマスについて質問します。

この基金は、地方公共団体の所有する公共施設等であって、地域防災拠点や地域住民の生活等に不可欠な施設に対して太陽光発電設備を設置する場合は100%補助されます。この基金を活用して太陽光発電設備の設置に取り組んではどうか。

**町長** 環境に配慮した再生可能エネルギーを積極的に取り入れ、環境負荷の低減に努めていくことと合わせ、災害時における電力確保については重要な課題であり、防災拠点施設への太陽光発電の設置に向けて検討した結果、耐震性を満たし、南向きで傾斜のある屋根、避難所として

多くの住民が避難することなどを総合的に勘案し、大江町体育センターにグリーンニューデール基金制度を活用した事業を実施することに向け取り組んでまいります。



避難所への太陽光発電設備の設置が望まれる体育センター

**質問** 当町の約80%は森林面積が占めており、この豊かな森林資源を活用するとともに、グリーンニューデール基金の補助を受け、庁舎、中央公民館、体育館、学校等に木質バイオマスボイラーを設置し、発電、冷暖房等に利用してはどうか。

**町長** 木質バイオマスエネルギーについては、温暖化対策や森林資源の活用による森林整備等を考慮し、木質バイオマス利用による熱エネルギー供給システムの構築等について研究を進めるとともに、公共施設等については、整備費用や維持管理コスト面、燃料の供給体制等の調査をしながら検討をしてまいりたいと考えております。



森林保全と省エネルギーにつながる木質バイオマス

**質問** 今後も、国や県の各種補助金を積極的に活用した事業の計画は考えられないか。

**町長** 国・県の補助金をにらみながら積極的に取り組んでいきたいと思っております。

各温泉、源泉の利用など、また小水力発電の実験を具体的に始めております。

市町村間の交流のなかで、美しい森造り協議会を含めて、近隣の町が協同で、木質バイオマス、あるいは杉材の有効活用について、協議会を立ち上げて検討していくことがあってもいいと思っておりますので、働きかけていきたいと思っております。

## 大江・朝日両町議会 議員協議会

平成25年1月16日、大江・朝日両町議会議員協議会が両町長及び県議会議員阿部賢一氏を来賓として迎え、朝日自然観を会場に開かれました。



前半は、「江戸時代における大江町と朝日町のかかわりについて」松山藩支配と五百川峡谷の舟運について」と題し、NPO法人朝日町エコミュージアム協会理事の長岡信悦氏が講演されました。

特に松山藩成立後は、大江町と朝日町は、米や青芋を上方に運ぶ最上

川舟運を通じて密接な関係があったことを強調されました。後半は、両町の共通課題について協議しました。

### ①空き家対策について

朝日町は二百件以上の空き家を抱えており、対策として、12月の定例会で「空き家等の適正管理に関する条例」を制定しています。本町においても今定例会で制定しました。

### ②観光交流について

白鷹・朝日・大江広域観光交流をさらに深めていくとともに、朝日町に道の駅を設置することについて要望するとの意見がありました。また「おしん」の映画化について、撮影現場の一部が朝日町側の最上川で計画されていることもあり、最上川を通じて観光交流を深めていきます。

### ③県立左沢高等学校の動向について

平成25年度から総合学科に生まれ変わります。総合学科は教養、総合ビジネス、果樹園芸の3つの系列からなり、幅広く学ぶことができます。

果樹園芸科の生徒は後2年で卒業することから、高松校舎と園芸地はそのままで、本校から大型バスで移動します。

また、阿部県議より、園芸地については将来、大江・朝日町の間に教育農地の確保をしたいとの意見がありました。

### ④その他

卒原発を目指し大江・朝日の境界にメガソーラーを設置して、小水力発電、木質バイオマスエネルギーの開発に取り組み、若者の就業を図ろうという意見がありました。

## 議長声明

平成25年大江町議会第一回定例会閉会にあたり、議長より一言申し上げます。

さて、23年11月以降、議員の不祥事により、新聞、マスコミ等をさわがせ、町民をも巻き込んだの大問題になり、議会は混乱を極め、町民の皆様には大変なご心配とご迷惑をお掛け致しました。大江町議会をあくまで議長として心からお詫び申し上げます。

元来、議会と執行部は車の両輪に例えられ、町政執行に当たっては最も重要な関係にあります。議会を構成するそれぞれの議員は町民の負託を受けて議員を拝命した訳であり、町民の代弁者として、町民生活の安定と大江町のさらなる発展のために活動していくことが議員としての使命であります。

大江町議会にとって、過ぎ去ってしまった過去は元には戻りませんが、過去を反省し、また教訓として、自我を捨て、議会本来の新たな理想に向かって議員一丸となって邁進していかなければなりません。今後は、町民の信頼をとりもどし、負託にこたえるべく、大江町議会のさらなる飛躍を目指し、議会の活性化、町民に開かれた議会活動など、問題が山積している現状に鑑み、議員諸君の意見を集約して、できるだけ早い時期に議会の改革に取り組んでいきたいと考えております。

# 定例会

## 専決処分

●平成24年度町道富沢  
連絡線外道路改良工  
事請負契約の一部変  
更について

（請負金額）

4千882万5千999円を5千15万6千400円に変更するものです。道路南側に土留め・水路を設ける必要があるからとの報告がありました。

●平成24年度一般会計  
補正予算

既定の歳入歳出予算の総額に2千370万円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ50億9千660万円とするもので、豪雪により道路除排雪経費が緊急に必要となったためです。

この専決処分を承認しました。

## 計画変更

●大江町過疎地域自立  
促進計画（平成22年12月  
9日策定）の一部変更に  
ついて



改修される健康温泉館

自立促進施策区分のうち、①産業の振興の事業名（8）観光又はレクリエーションに、事業内容として健康温泉館改修事業を付け加えるものです。

## 町道認定

藤田連絡2号線外11路線を町道として認定するものです。  
内容は、生活道路3路線（諏訪堂連絡線など）、農道5路線（農道北部1号線など）、林道4路線（林道古寺線など）が町道になります。



諏訪堂連絡線

## 字の区域及び名称の変更

地籍調査事業に伴い、平成23年度実施した調査区域内の字の区域及び名称変更をするもので、柳川地区に関するものです。

以上3件を可決しました。



久保中道下線

# 条例制定

本定例会では町提出18条例、議員提出2条例、1会議規則を可決しました。

地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律（地域主権一括法）及び各関連法律に基づき制定、または改正されるものです。

## 《制定された主な条例》

### 大江町空き家等の適正管理に関する条例

空き家の適正な管理に関し所有者の責務を明確にするとともに、管理不全な状態になることを防止するもので、空き家等の調査を行うとともに助言、指導勧告を行えるようにしたものです。

### 大江町型住宅体験施設の設置及び管理に関する条例

体験施設に宿泊もできるようにしたものです。一泊1人3千500円

から4千円です。

### 大江町特別職に属する者の給与に関する条例の一部を改正する条例

町長、副町長の給与は1年間それぞれ10%、5%減額されることになりました。町長の給与は73万8千円、副町長は60万8千円となりました。

教育長の給与も3%減額され、55万7千750円となります。

### 大江町道路路占有料徴収条例の一部を改正する条例

町道にある電柱等の占有料が引き下げられました。

### 大江町立学校の設置等に関する条例の一部を改正する条例

三郷小学校、本郷西小学校、七軒東小学校、七軒西小学校の4校の閉校、大江中学校寄宿舎の廃止、また、左沢小学校藤田の丘分校、大江中学校藤田の丘分校の開設に伴うものです。

### 大江町社会体育施設の設置管理及び使用に関する条例の一部を改正する条例

閉校になった、本郷西小、七軒東小、七軒西小の体育館を町民が利用できるようにするものです。

### 大江町議会政務活動費の交付に関する条例

地方自治法の改正に伴い、政治活動の範囲を条例で定めるとともに、活動費の使途をより明確にするために定めたものです。政務活動費は月額5千円です。

### 大江町議会委員会条例の一部を改正する条例

地方自治法の改正により議会で公聴会を開けるようになり、また、参考人を招致できるようになったことによるものです。

### お詫びと訂正

12月の臨時会において、松田議員の賛成討論の中、消防団との係りについて、一部行き過ぎた発言がありました。

その発言を記事として掲載したことに対し、お詫びを申し上げます。

前号126号の10ページ4段目

「山の幸」を「里の幸」と訂正し、お詫びを申し上げます。

同号の14ページ2段目

農業委員「明石栄七氏」を「明石永七氏」に訂正し、お詫びを申し上げます。



閉校した本郷西小学校の校舎と本郷西地区体育館

# 行政報告

昨年3月で休校となっていた三郷小学校に、西村山管内の児童・生徒を対象とした、県の障がい者特別支援学校の中等部と高等部の分校が開設されます。

校舎は県に無償で提供され、平成27年度に開校します。西村山各地区より、約80名の生徒が利用するということで、三郷小学校が新しく生まれ変わることとなります。また、10年以上休園扱いされていた貫見のつくし保育園と、深沢のひばり保育園を廃止する事務手続きを行います。



旧三郷小学校

い、ひばり保育園は当分の間、町の倉庫として今まで通り利用し、つくし保育園に関して解体する方向です。

# 西村山広域議会報告

## 広域行政事務組合事業計画

### 〔一般会計事業〕

#### ①老人ホーム施設整備事業

昭和49年8月の明鏡荘（定員100名）開荘以来、高齢者の受け入れ施設として大きな役割を担ってきましたが、近年、入荘後の加齢等により介護の必要な方が増加し、必要とする介護サービスを適時に提供することが課題となり、民間事業者による指定管理者制度を導入し、運営をしていく計画となりました。

今後の予定は、平成25年条例制定・改正、公募、指定管理者の指定及び債務負担行為、指定管理者指定通知及び公告、指定管理者特殊浴室工事1千710万円。平成26年条例制定・改正、基本協定・年度協定締結。トイレ改修工事（21箇所）2千160万円。平成27年暖房設備改修工事4千900万円。平成28年指定管理者委託。

#### ②消防施設整備事業

平成25年度  
車両更新 化学車1台

5千500万円  
庁舎耐震工事（本部、大江、朝日）  
9千900万円



耐震工事が施される大江分署

救急デジタル無線整備  
実施設計業務委託 2千万円  
平成26年度・平成27年度  
消防救急デジタル無線整備  
（無線局舎及び付帯設備等整備）  
6億円

#### ③クリーンセンター、斎場特別会計

〔平成25年度 施設整備〕

発注仕様書作成及び生活環境影響調査業務委託 364万円  
ごみ焼却処理施設自動燃焼データ処理装置工事 7千810万円

〔平成26年度 施設整備〕

施設改修工事及び施工管理業務委託 5億3千500万円  
ごみ焼却処理施設  
排ガス分析工事 3千964万円

#### ④最終処分場施設整備（第2期大平埋立処分地）

平成25年度  
実施設計等業務委託3千271万円  
平成26年度  
施設建設工事30%及び施工監理業務委託 4億4千100万円  
平成27年度  
施設建設工事70%及び施工監理業務委託 10億300万円



寒河江市幸生地区にある大平最終処分場



**大江町議会総務常任委員会  
行政視察報告**

『自然エネルギー導入への  
取組状況について』

平成25年1月30日(水)、真室川町が役場庁舎で実証実験している、壁を利用して垂直に設置した太陽光パネルの現地視察を行い、真室川役場町民課職員より説明を受けました。

この太陽光パネルはパナソニック製で、一枚のサイズが、縦1.6m横0.8mのものを16枚、役場庁舎南側1階と2階の間の壁に垂直に取り付けられており、耐用年数は20年。設置費用は不明だが、屋根置き式、垂直式とも同額とのこと。

12月～3月の発電量は547キロワットで、屋根置き式の1・75倍も多く、豪雪地帯の太陽光発電として垂直式の発電パネルの有効性が証明された反面、冬場以外の発電量は屋根置き式には劣ることが分かった。また、コンクリート製建物だけでなく、木造の建物にも取り付け可能とのこと。

真室川町役場庁舎は昭和39年建設で、大江町役場庁舎より古く耐震工事もしていない建物であるこ

とから、大江町役場庁舎にも十分取り付け可能である。

公共施設の非常用電源については、蓄電池を設置していないため日中の非常時電源となり、夕方から夜間の間は発電できず、非常時には使えないとのこと。

この取り組みは真室川町民に対する導入促進のPRであり、その結果、今年度2件の住宅で設置の申請があったということです。垂直式でなく可変式のパネルにすれば1年を通して発電量が多くなるとの説明を受け、大江町の公共施設に設置する場合には「可変式」を勧めたい。

代替可能エネルギーの点からも、町民に対する「自然エネルギー導入」のPRの必要性を強く感じた。



真室川役場に設置されている太陽光パネル

**産業厚生常任委員会  
現地調査**

平成25年2月22日、次の3箇所について現地調査を行いました。

① 町道富沢連絡線

平成24年度の事業計画で昨年9月7日に工事を開始し、今年3月27日の完成を目指しています。

施行延長は294・7m、幅4.0(6.0)の工事で、費用は5千15万円です。従来から大型車両の利用が多く、完成することにより一層の利便性、安全性が図られます。



富沢連絡線

② 町営西原住宅(C棟・D棟)

昨年度のA棟・B棟に引き続き、平成24年度の事業計画でC棟・D棟を建築、1月末に完成しました。

建屋工事費用は7千827万円です。山杉をふんだんに使用し、若者世代向けにロフトを設置した木造住宅で、4月1日から入居の予定です。

③ 道路の除排雪状況

主に七軒地区の除排雪状況を視察しました。

特に田の沢、矢引沢地区では道路脇の安全ポール(2m70cm)が見えないほどの積雪でしたが、除雪はきれいにされていました。



豪雪状況(矢引沢)



# 町民 みなさんの 請願・陳情



## 意見書を国に提出

第1回定例会では、請願等にもとづき2件の意見書が提出されました。

### 【請願第1号】

『T P P 交渉参加反対に関する件について』

### 《請願者》

さがえ西村山農業協同組合 代表理事組合長

さがえ西村山農協農政対策協議会会長

### 【要請第1号】

『国民健康保険制度における国庫負担の増額を求める意見書の提出方について』

### 《請願者》

山形県町村議会議長会会長

…………… 齋藤 修一

…………… 古沢 明  
…………… 古沢 明

## 請願(陳情)書の書き方

町民のみなさんの意見・要望などを町政に反映させる方法のひとつとして、請願(陳情)があります。請願(陳情)する方の住所、氏名を記載、押印して、紹介議員(陳情の場合は不要)1人以上の署名を受け、要旨・理由を記載したものととも、議長あてに提出してください。

### 《表紙》

〇〇に関する請願(陳情)書

紹介議員 〇〇〇〇

※陳情の場合は紹介議員は不要

### (内用紙)

〇〇に関する請願(陳情)書

要旨 ……

理由 ……

(要旨・理由ともに簡潔明瞭に記載してください。)

平成〇年〇月〇日

大江町議会議長 〇〇〇〇様

請願(陳情)者の住所

氏名 〇〇〇〇 印

# 私からも一言



## 「昔今・今昔」

佐藤 勉(九区)

俺たちの子どもの頃は、一軒の家には子どもが四人から五人、多いところは七人から八人おり、学校から家に帰るなり「腹減った」と言うと、「ままでもけー」と言われ「味噌付けやぎみす」を作ってもらい、おやつ代わりに食べると直ぐに外に遊びに出たものです。三箇所ぐらい遊ぶ場所が決まっています、その場所に行くと、十人ぐらい遊んでいる子どもがいてチャンバラ、かくれんぼ、石けり、縄とびをしました。

冬になるとスキー、ソリ乗り、かまくらづくり、雪合戦と、とにかく外に出ないといろんな遊びができなかった。昔は、アトピーとか花粉症などはなかったと思います。子どもの頃は、杉の木の下で、杉鉄砲と言って杉の実をたくさん口に入れながらその実を竹の穴に入れ、竹の細い棒で押すとパーンと杉の実が外に出る遊びもしました。

小さい頃から外に出て遊んでいけるから自然に体に抵抗力がついて、アトピーとか花粉症にはならなかったのだと思います。

今の子どもを外で見かけるのは登校、下校や塾通いの時だけ。今の若い人が結婚しても子どもは一人二人で、子どもを作らない人もいます。これでは子どもは増えません。

これからの子どもたちのためにも、子どもを生める環境を作るのが大事だと思います。とにかく三人以上生んでもらわないと増えません。

例えば、三人以上生んだ人には保育園、幼稚園にかかる費用を優遇するとかしてもらいたいものです。

考えたり議論ばかりしていないで、実行しなければ、大江町の人口は毎年減少していきます。



## 「当たり前のこと」

佐藤 和雄(十三区)

昨年同様豪雪だった今冬ですが、わが町では県内でも一、二番という早さで雪対策を打ち出していただき、多くの方が「助かった」と思ったのではないのでしょうか。町の対応に感謝いたします。

さて、「温泉県」と言ってもよい山形県の中でも3か所に温泉のある町は珍しく、私は毎日柏陵荘に入浴しています。泉質のよさと低料金が魅力なのか、町外・県外の方にもたくさんいらしていただいております。

そこで必ずと言っていいほど話題にのぼるのはわが町の議会のことです。今年になってようやく、続いて起きた不祥事問題も解決したようですが、大分長い間「辞めろ」「辞めない」の議論をしてい

ました。こんなことで長時間、議員が議事堂を使用することに大きな疑問が生じます。子どもに見せたら笑われるでしょう。

まず、「酒を飲んだら乗るな、乗るなら飲むな」は、事あるごとに申し合わせている当たり前のこと。そして、議員が物品を贈ったり贈られたりしてはならないことは、一部の議員を除いて全町民が知っています。選挙のとき、町民に頭を下げて願ったのだから、町民の代表として頑張っていたきたいのです。このたびのことで議員を辞した人は大ベテランの議員だったと思いますが、それだけに残念です。

ときにはぶつかり合いもしながら、町民の利益になるように真剣に議論する場が議会であり、議員の責務です。物品を贈ったり根回しして議長になっても、真の議長とは言えません。

普通のくらしと町発展を願う一人として、全議員にこのことばを送りたいと思います。

## 『のうちゅう 囊中の錐きり』

(優れた人は、凡人の中に混ざっても頭角を表わすという意味)

# 祝 林歳幸氏 旭日双光章受章を祝う

平成25年3月17日、大江町民ふれあい会館において祝賀会が行われました。



元副議長の林歳幸氏は、平成24年11月6日に山形市文翔館において、吉村美恵子山形県知事より旭日双光章の伝達を受けました。11月15日には、皇居にて行われた拝謁式に出席しました。

## 功績

林歳幸氏は、昭和9年大江町月布生まれ。昭和58年9月大江町議会議員に初当選以来、平成19年9月まで

の6期24年の永きにわたり在職し、特に平成9年9月から大江町議会副議長として議長を補佐し、議会の円滑な運営に尽力されました。在職中、総務常任委員長を始め、数々の常任委員長を歴任し、高邁な政治信念をもって町民の福祉向上に貢献されました。

## 主な表彰

- 平成11年2月 村山地方町村議会議長会長表彰 (自治功勞 議員在職15年)
- 平成11年2月 全国町村議会議長会 山形県町村議会議長会会長表彰 (自治功勞)
- 平成15年9月 大江町長表彰 (自治功勞 議員在職20年)
- 平成20年2月 大江町長表彰 (自治功勞 永年勤続退職議員)

# 国の『重要文化的景観』に選定

「最上川の流通・往来及び左沢町場の景観」が、国の重要文化的景観として、3月27日選定されました。今まで選定された所は全国で35箇所あり、山形県では初の選定で、東北地方では3番目になります。

先の爆弾低気圧の暴風にも負けずに立っていた重要文化的景観の白と赤の「のぼり旗」にあるマークの意味をご存知ですか。あのマークは、最上川の流れと最上橋をイメージしたものだそうです。

大江町の文化と生活を物語る宝を未来につないでいきましょう。



# 編集◆後◆記

3月に入ってからの大雪に、春は遠いと思いましたが、暖かい日差しが降り注ぎ、いつの間にか雪も少なくなりました。

私事ですが、この春長女が高校を卒業し社会人になりました。親の務めの大半を終わったことを実感し、卒業式の日には涙が…。娘を育ててくれた大江町に感謝し、この町が、町民の皆さまに住んで良かったと思つてもらえる町づくりをしなくてはと、25年度の予算書を手にして強く感じました。

雪片付けの疲れも取れず、春の農作業開始等々、体を動かす時期です。どなた様も、お体に気をつけて。  
(記・安食幸治)

## 【発行責任者】

- ◆議長 小野 祐一
- ◆【大江町議会議会広報常任委員会】
- ◆委員長 伊藤慎一郎
- ◆副委員長 安彦 勉
- ◆委員 宇津江雅人
- ◆委員 安食 幸治